

牧師所感： 教え子の決意を回想する

筆者は1989年より2003年まで、東京の町田に所在する桜美林大学で非常勤講師として学生を教えた。桜美林大学を定年で退くと共に、在日大韓基督教職をも退職、また東京中央神学校の教授退職と、人生の終りが来たかと思えた。

ところが主なる神様は筆者を哀れみ、千葉県八街市に教会堂を建立して、二十数年間を牧会するお恵みを下された。この二十数年間、日本の牧会者に支えられて、余生を有意義に送ることが出来たことを感謝している。

だが今は齢を取って死期が近付くことになり（91才）、身の回りを整理することとなった。ところが意外ではあるが、桜美林大学で教えた教え子の感想文を読むことになった。

筆者が牧師であり、韓国人であるので、日韓友好の為の講義を幾度することになった。その時筆者の講義を聞いた学生がクリスチャンもいて、日韓和解に関心を持っていたと知る。はからずも、その昔（その時）の感想文を読むことになったので、その時の感想文をここに掲載してその学生を祝福する所存である。

先生の情熱的なしゃべりに 最初から最後まで ひきま
れてしまいました。

私は将来、国際社会に出て働きたいと思っている
人間です。名前の話から始めて、それぞれの国の人々の
国民性を尊重することがどれだけ大切なことか
ということか、ほんの少しだけ分かった気がします。

それから、2次大戦が終わった後の日本と韓国の
ぎくしゃくした関係を改善していく切り口を

韓国人である先生から学ぶことで見つけていける
気がしました。私はクリスチャンで、自分の仕事に
自分の信仰を反映させていくという夢を持っています。

こういう所で、自分の将来に役立つことが学べる
ということをとてとてもうれしく思います。

次の講義も楽しみにしています。

正直なところ、日本と韓国が共同でワールド
カップを開催することは私にとってあまり喜ばしい
ことではありませんでした。FIFAの人が
共同で開催するというので、日韓のゴタゴタを
うまくやりこめたのだろうと...

でも、先程先生が読んでくれた論文を聞いて、
自分が安心すくなりました。2つの国で
開催することで、2国間の関係をより良く
していこうという朴世直さんの前向きな
意見に、深く納得することができました。

「どうせ韓国人は反日感情を持っているから」と
今の日本人は単純に考えて、韓国の人に
歩みようしない傾向があると思います。
まだ時間はかかると思いますが

2002年のWCを切り口に、ますます前向きに
2国間のことを考えていけるようになるのでは
ないかと思います。

うらへ →

英・中・日・韓・総 経・商・(国)ビ・院 (どれか印)	学籍番号	く 年 組 番)
姓名	小栗 範子	得点
		4/13 (木)

00.3 30.000 おぐり のりこ